

# 富山大学 学報

## 第248号

### 目 次

関 係 法 令..... 2	工学部の移転について..... 11
諸 会 議..... 3	シリーズ 「富山大学、あの日あの頃」 (10)
学 事..... 4	<富山、第二の故郷> ..... 12
昭和60年度富山大学入学者選抜に関する	寄 稿 <ウッズ・ホールと海洋生物学研究所> ... 13
要項を公表..... 4	富山相銀奨学育英財団及び田村科学技術
人 事 異 動..... 10	振興財団からの助成金について..... 15
学 内 諸 報..... 10	職 員 消 息..... 15
海外渡航者..... 10	主 要 行 事..... 16
昭和59年度富山大学公開講座(その1)	資 料..... 18
——健康・スポーツ教室——..... 10	昭和58年度富山大学学報目録..... 18

関係法令

	(官報掲 載月日)	(官報掲 載月日)
<b>政 令</b>		
○ 文部省組織令 (227)	6・28	○ 人事院規則 (勤務評定の根本基準) の一部を改正する規則 (人事院10-2) 6・30
○ 保健体育審議会令等の一部を改正する政令 (229)	6・28	○ 人事院規則 (職員の身分保障) の一部を改正する規則 (人事院11-4) 6・30
○ 国立学校設置法施行令 (230)	6・28	○ 人事院規則 (職員の災害補償) の一部を改正する規則 (人事院16-0) 6・30
<b>省 令</b>		
○ 国立学校設置法に規定する共通第1次学力試験に係る費用の納付手続の特例に関する省令の一部を改正する省令(大蔵28)	6・29	○ 人事院規則 (災害を受けた職員の福祉施設) の一部を改正する規則 (人事院16-3) 6・30
○ 文部省設置法施行規則等の一部を改正する省令 (文部37)	6・30 (号外)	○ 人事院規則 (職員団体のための職員の行為) の一部を改正する規則 (人事院17-2) 6・30
○ 国立学校設置法施行規則及び国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令(文部38)	6・30 (号外)	○ 人事院規則 (俸給表の適用範囲) の一部を改正する規則 (人事院9-2) 6・30
<b>規 則</b>		
○ 人事院規則 (管理職員等の範囲) の一部を改正する規則 (人事院17-0) 6・22		○ 人事院規則 (俸給等の支給) の一部を改正する規則 (人事院9-7) 6・30
○ 人事院規則 (特別職) の一部を改正する規則 (人事院1-5) 6・30		○ 人事院規則 (初任給, 昇格, 昇給等の基準) の一部を改正する規則 (人事院9-8) 6・30
○ 人事院規則 (職員の任免) の一部を改正する規則 (人事院8-12) 6・30		<b>告 示</b>
○ 人事院規則 (俸給の調整額) の一部を改正する規則 (人事院9-6) 6・30		○ 大学の名称を変更する件 (文部80) 6・6
○ 人事院規則 (俸給の特別調整額) の一部を改正する規則 (人事院9-17) 6・30		○ 短期大学の名称を変更する件 (文部81) 6・6
○ 人事院規則 (特殊勤務手当) の一部を改正する規則 (人事院9-30) 6・30		○ 大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定の一部を改正する件 (文部96) 6・30 (号外)
○ 人事院規則 (特地利務手当等) の一部を改正する規則 (人事院9-55) 6・30		○ 大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定の一部を改正する件 (文部97) 6・30 (号外)

—職員会館の宿泊の御案内—

◎利用日……土・日曜日及び祝日も利用できます!!

◎申し込み…利用日の2日前までに!!

◎門限時刻…午後10時……御協力を……!!

## 諸 会 議

## 保健管理センター運営委員会（6月1日）

## （審議事項）

- (1)保健管理センター事業計画等について

## 昭和59年度第2回入学試験管理委員会（6月12日）

## （審議事項）

- (1)昭和60年度富山大学入学者選抜方法並びに第2次の学力検査実施教科・科目について
- (2)昭和60年度富山大学入学者選抜試験の選考基準について
- (3)昭和60年度富山大学入学者選抜に関する要項について
- (4)昭和60年度入学試験問題作成主任委員及び同整理委員について

## 昭和59年度第1回富山大学施設整備委員会（6月12日）

## （審議事項）

- (1)昭和60年度国立学校施設整備費概算要求について
- (2)工学部運動場の処分について
- (3)自動二輪車専用駐車場等の交通施設の設置について

## 昭和59年度第2回学寮補導委員会（6月15日）

## （審議事項）

- (1)水道料の負担区分について
- (2)受験生宿泊について

## 昭和59年度第1回大学院委員会（6月15日）

## （審議事項）

- (1)昭和60年度富山大学大学院理学研究科(修士課程)及び工学研究科(修士課程)学生募集要項(案)について

## 昭和59年度第3回評議会（6月15日）

## （報告事項）

- (1)昭和60年度富山大学大学院理学研究科(修士課程)及び工学研究科(修士課程)学生募集要項について

- (2)昭和60年度入学試験問題作成主任委員及び同整理委員について

- (3)国立大学等における組織及び運営の見直しの実施について

- (4)学生の動向について

## （審議事項）

- (1)入学式々場について（継続審議事項）
- (2)昭和60年度概算要求(案)について
- (3)昭和59年度学内予算配分(案)について
- (4)昭和60年度富山大学入学者選抜に関する要項(案)について
- (5)工学部運動場の処分について

## 富山大学情報処理センター設置準備委員会（6月19日）

## （審議事項）

- (1)情報処理センター規則案作成の専門委員の推薦について

## 富山大学構内交通対策委員会（6月22日）

## （審議事項）

- (1)自動二輪車専用駐車場等の交通施設の設置について

## 昭和59年度第3回附属図書館商議会（6月26日）

## （報告事項）

- (1)第31回国立大学図書館協議会総会について
- (2)昭和59年度附属図書館運営費について

## （審議事項）

- (1)昭和59年度学生用図書購入費について
- (2)昭和59年度参考図書購入費について
- (3)昭和59年度基本図書購入費について

## 昭和59年度第1回教務委員会（6月29日）

## （審議事項）

- (1)昭和59年度教職に関する専門科目の授業について
- (2)高等学校の教育課程改訂に伴う本学の対応について

昭和59年度第1回国際交流委員会（6月29日）

（審議事項）

（報告事項）

(1)遼寧大学との友好学術交流締結について

(1)学術交流に基づく教官の招へい及び派遣について  
(2)交流経費について

学 事

昭和60年度富山大学入学者選抜に関する要項を発表

本学は、昭和60年度富山大学入学者選抜に関する要項を7月3日(火)に次のとおり発表しました。学力検査実施教科・科目については、昨年3月すでに発表済みのものと変更はありません。

なお、第2次の学力検査等の日程、試験場及び出願手続等の細目を記載した学生募集要項については、本年12月上旬頃に発表する予定です。

昭和59年度との主な相違点は次のとおりです。

- ①教育学部小学校教員養成課程、養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程で学力検査のほか新たに実技検査を課したこと。
- ②人文学部の第2次試験の国語の配点を200点から250点に増やしたこと。

昭和60年度富山大学入学者選抜に関する要項

1. 学部・学科等の内容及び入学定員

学 部	学 科 ・ 課 程	入学定員	専 攻 ， 講 座 又 は 学 科 目
人文学部	人 文 学 科	90	履修コース 哲学、日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学、人文地理学、文化人類学、言語学、文化構造論
	語 学 文 学 科	80	
教育学部	小学校教員養成課程	140	専攻教科 国語、社会、数学、理科、音楽、図面工作、体育、家庭、教育学、教育心理学
	中学校教員養成課程	50	
	養護学校教員養成課程	20	
	幼稚園教員養成課程	30	
経済学部	経 済 学 科	120	経済原論 一第 経済原論第二、経済史、経済 疎、金融論、財政学、統計学、経済地理学、社会学、経営学流通論、財務会計、管 理計、織工学、経営環境論、国際経営論、人事管理 論経 務論、基礎 法財産法、企業関 係 倒産 関係法社会法、国際 引取法
	経 営 学 科	120	
	経 営 法 学 科	60	
理学部	数 学 科	40	代数学及び幾何学、解析学、数理統計学、応用解析学及び電子計算機論
	物 理 学 科	40	固体物理学、量子物理学、結晶物理学、電波物理学、レーザー物理学
	化 学 科	40	物理化学、構造化学、分析化学、有機化学、天然物化学
	生 物 学 科	30	形態学、生理学、細胞生物学、環境生物学
	地 球 科 学 科	30	地殻構造学、地殻進化学、陸水学、雪氷学

学 部	学 科 ・ 課 程	入学定員	専 攻 ， 講 座 又 は 学 科 目
工 学 部	電 気 工 学 科	50	電気理論，電気機器学，電力工学，通信工学，制御工学
	工 業 化 学 科	45	有機工業化学，有機合成化学，無機工業化学， 応用物理化学，環境化学
	金 属 工 学 科	40	金属材料学，金属加工学，鉄冶金学，非鉄冶金学
	機 械 工 学 科	50	材料力学，機械力学，流体工学，熱工学，動力熱工学
	生 産 機 械 工 学 科	40	切削加工，工業計測，塑性加工，制御機器
	化 学 工 学 科	40	反応工学，拡散単位操作，機械的単位操作，輸送現象
	電 子 工 学 科	40	基礎電子工学，応用電子工学，電子素子工学， 電子回路工
	共 通 講 座	—	応用物理学，応用数学，情報処理
合 計		1,195	

2. 入学者選抜方法等並びに第2次の学力検査実施教科・科目

別表 I・IIのとおり

3. 学生募集要項（細目）の発表

募集人員，出願期日，第2次の学力検査等の実施期日，試験場等の細目を記載した学生募集要項は，12月上旬頃に発表の予定である。

4. 共通第1次学力試験及び第2次の学力検査の配点

教科等		区 分	国 語	社 会	数 学	理 科	外 国 語	実 技 査	小 計	合 計
学部(学科・課程)										
人 文 学 部		共通第1次 第2次	100 250	100	100	100	100 200		500 450	950
教 育 学 部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	共通第1次 第2次	200 200	200	200 200	200	200 200	200	1,000 400	1,400
	中学校教員養成課程 (国語，社会，英語 専攻)	共通第1次 第2次	200 400	200	200	200	200 400		1,000 400	1,400
	中学校教員養成課程 (数学，理科，家庭， 技術専攻)	共通第1次 第2次	200	200	200 400	200	200 400		1,000 400	1,400
	中学校教員養成課程 (音楽，美術， 保健体育専攻)	共通第1次 第2次	200	200	200	200	200	400	1,000 400	1,400
経 済 学 部		共通第1次 第2次	100	100	100 300	100	100 300		500 300	800
理 学 部	数 学 科	共通第1次 第2次	200	200	200 400	200	200		1,000 400	1,400
	物 理 学 科 化 学 科 生 物 学 科 地 球 科 学 科	共通第1次 第2次	200	200	200 200	200	200		1,000 400	1,400
	工 学 部	共通第1次 第2次	200	200	200 200	200 200	200		1,000 400	1,400

5. 第2次募集の配点

学部・学科	共通第1次学力試験					第2次の 学力検査	合 計
	国 語	社 会	数 学	理 科	外 国 語		
理学部物理学科	200点	200点	400点	400点	200点		1,400点

別 表 I

昭和60年度富山大学

学部・ 学科名	選抜 方法等	第 2 次 の 学 力 検 査 等						推 薦			
		第 2 次 の学力 検査を 課す	実 技 検 査 等			2 段 階 選 抜			入学定員の一部について、出身学 力検査を免除し調査書を主な資料		
			実 技 検 査を課 する	面 接 を行 う	小 論 文 を課 す	主として、調査書の内容と第1次学力試験の成績により第1段階の選抜を行う	調査通第1段階の選抜による合格者数	定員に 対する 倍率	その他	第 2 次 学 力 検 査 を 免 除 し、 第 1 次 学 力 検 査 を 課 す	第 2 次 学 力 検 査 を 免 除 し、 第 1 次 学 力 検 査 を 課 す
人 文 学 部		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
教 育 学 部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	中学校教員養成課程 (国語、社会、数学、 理科、家庭、技術、 英語専攻)	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	中学校教員養成課程 (音楽、美術、 保健体育専攻)	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
経 済 学 部		○	×	×	×	×	×	×	×	○	×
理 学 部	数 学 科 化 学 科 生 物 学 科 地 球 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	物 理 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
工 学 部		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

備 考 1. 調査書に㊤標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため。)

2. 経済学部の推薦入学については、高等学校の専門教育を主とする学科(いわゆる職業科)を昭和60年3月卒業見込み者の内から選抜する。(推薦人員は、1高等学校につき2名以内とする。)

なお、小論文作成のための資料には、英文が含まれる。

また、推薦入学の不合格者は、一般の入学志願者として第2次の学力検査を受けること

入学者選抜方法等

入 学			推薦入学 募集人員 (又は比率)	帰国子女、社会人の ための特別の選抜				第 2 次 募 集					備 考	
校長の推薦に基づき、学 として判定する				帰 国 子 女	帰 国 女 子 募 集 人 員 ( 又 は 比 率)	社 会 人	社 会 人 の 募 集 人 員 ( 又 は 比 率)	第2次 の学 力 を 検 査 す る	実 技 検 査 等			第2次 募 集 人 員 ( 又 は 比 率)		入 学 定 員 等 に 欠 け が あ る 場 合 に 第 2 次 募 集 を 行 う
技 検 査 等	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る							其 他	実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う			
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	(下記参照)
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
○	○	×	15名 以内	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	10名	×	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

ができる。ただし、そのためには、あらかじめ、共通第1次学力試験を受験しておくこと。

詳細については、12月上旬頃発表予定の学生募集要項を参照のこと。

- 理学部物理学科の第2次募集では、第2次の学力検査は行わず、共通第1次学力試験、調査書及び健康診断を総合して判定する。

別 表 II

昭和60年度富山大学入学者選

学部(学科・課程)名		人文学部										経済学部	
		小学校教員養成課程		中学校教員養成課程(国語, 社会, 英語専攻)		中学校教員養成課程(数学, 理科, 家庭, 技術専攻)		中学校教員養成課程(音楽, 美術, 保健体育専攻)					
科目数等		出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数
国語	国語 I	◎	2	○	2	○	2		2		2		2
	国語 II	◎		○		○							
数学	代数・幾何			○	3		2	○	2		2	○	2
	基礎解析		○			○							
	微分・積分												
	確率・統計												
理科	物理				1		1		1		1		1
	化学												
	生物												
	地学												
外国語	英語 II	○	英語は2その他は1	○	3	○	2	○	2		2	○	2
	英語 II B	○		○		○							
	ドイツ語	○											
	朝鮮語	○											
	中国語	○											
	ロシア語	○											
芸術 保健 体育	音楽実技			○	1		1		1	◎	1		1
	美術実技		○			◎							
	体育実技		○			◎							
合計		8	4又は3	9	3	4	2	4	2	1	1	5	2又は1

備考 1. ◎は必ず受験しなければならない科目を, ○は選択科目を示す。  
 2. 教育学部の実技検査の内容  
 (1) 小学校教員養成課程, 養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程  
 音楽 ① 楽器又は歌唱による自由曲演奏  
 楽器は和楽器を除く, 管・絃・鍵盤いずれも可  
 歌唱は音楽I程度までの歌曲  
 ② 簡易な音楽能力検査  
 音楽Iの程度までの範囲  
 美術 描写力検査のほか簡単なイメージテストと表現力検査を行う。  
 体育 基礎運動能力及び運動技能について検査する。  
 (2) 中学校教員養成課程の音楽, 美術及び保健体育専攻  
 12月上旬頃発表予定の学生募集要項で発表する。



抜学力検査実施教科・科目

理 学 部										工 学 部						摘 要	
数 学 科		物理学科		化学科		生物学科		地球科学科		電気工学科	工業化学科		金属工学科	化学工学科			
出題 科目	受験 科目数	出題 科目	受験 科目数	出題 科目	受験 科目数	出題 科目	受験 科目数	出題 科目	受験 科目数	出題 科目	受験 科目数	出題 科目	受験 科目数	出題 科目	受験 科目数		
																同一試験時間内に 解答させる。	
○	4	○	2	○	2	○	2	○	2	○	2	○	2	○	2		同一試験時間内に 解答させる。
○		○		○		○		○		○		○					
○		○		○		○		○		○		○					
○		○		○		○		○		○		○					
		○	1	○	1	○	1	○	1	○	1	○	1	○	1	同一試験時間内に 解答させる。	
	○	○		○		○		○		○							
		○		○		○		○		○							
				○				○									
																同一試験時間内に 解答させる。	
4	4	3	3	3	3	5	3	5	3	3	3	3	3	4	3		

3. 第2志望の選択

- (1) 教育学部志願者について  
第1志望の受験科目（実技検査を除く）が、他の課程又は専攻の指定する科目と同じである場合のみ第2志望を認める。  
ただし、中学校教員養成課程を第1志望とする者は、小学校、養護学校及び幼稚園教員養成課程を第2志望とすることができない。
- (2) 工学部志願者について  
ア. 「化学」で受験する者には、工業化学科、金属工学科及び化学工学科の3学科間でのみ第2志望を認める。  
イ. 「物理」で受験する者には、工業化学科を除く6学科にわたり第2志望を認める。



(開設コース・募集人員・受講対象等)

開設コース名	募集人員	受講対象者	備 考
硬式テニスコース	40名	初めてラケットを持つ婦人初心者	テニスシューズとボール2ヶ持参, ラケットは貸出可
体 操 コ ー ス	20名	中・高年齢の男女	日頃運動をする機会のない中・高齢者
ジョギングコース	20名	一般男女	

(日程・開講時間) ……………○印は2時間, ○○印は4時間の講座となります。

コース	月日	8/23(木)	24(金)	25(土)	27(月)	28(火)	29(水)	31(金)	9/1(土)	計
硬式テニスコース		○○	○	○	○	○	○	○	○○	20時間
体 操 コ ー ス		○○	○	○	○	○	○	○	○○	20時間

コース	月日	9/10(月)	12(水)	14(金)	16(日)	18(火)	20(木)	22(土)	25(火)	27(木)	29(土)	計
ジョギングコース		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20時間

(注) 硬式テニス及び体操コースは午前9時から, ジョギングコースは午前6時(初日のみ午前9時)から開講します。

(会 場) 富山大学教育学部第3棟  
 第16講義室(初日の集合場所)  
 富山大学体育館・グラウンド・テニス  
 コート(ジョギングは校外で行うこと  
 もあります。)

(受講料) 3,000円(講習料の分納はできません。  
 なお, 既納の講習料は還付しません。)  
 なお, 他に実費を徴収することもあり  
 ます。

(申込期間) 昭和59年7月28日~8月16日(ただし,  
 ジョギングコースは9/3まで受付)

(申込み・問合せ先) 富山市五福3190  
 富山大学庶務部庶務課まで  
 Tel 41-1271(内線205, 206)

(講師及び講座内容)

**硬式テニスコース** 教育学部助教授 山下 三 郎  
 教養部助教授 北 村 潔 和  
 体力診断及び体力増進法, ストロボ等による技術診  
 断, 実技では各種ストローク, サーブ, ボレー, ス  
 マッシュ等の基礎技術とゲームの進め方

**体 操** 教育学部教授 河 野 信 弘  
 関節の動きをよくする体操, 内臓の動きをよくする  
 体操, 体力をつけるための体操, 姿勢を正しくする  
 体操, 自分でできるマッサージ法など健康生活を保  
 つために体操を利用する方法

**ジョギング** 教育学部教授 山 地 啓 司  
 ウォーミングアップの方法, トレーニング方法とス  
 ケジュールの作り方, 走り方, コースの選定法, シュー  
 ズの選び方, レースへの参加と準備の進め方など

### 工学部の移転について

工学部校舎新営第1期工事が竣工し, 第1期の移転  
 を昭和59年8月2日から実施することとなった。  
 第1期には金属工学科, 機械工学科, 生産機械工学  
 科及び共通講座のほか, 事務部各係の一部が移転を行

う。  
 なお, 事務部は第2期移転完了時まで高岡地区及び  
 五福地区の両地区で事務を執り行うこととなる。また  
 後学期の授業は10月22日から両地区で開始される。



## シリーズ「富山大学、あの日あの頃」(10)

## 〈富山、第二の故郷〉

富山大学名誉教授の会 岩 淵 富 治

私が、富山大学経済学部<sup>に</sup>奉職したのは昭和34年で、57年4月に定年退官しましたので、在職期間は23年間ほどです。多くの教職員の方々からみれば、けっして永い期間ではないでしょうが、私の人生にとっては、もっとも永い職場でしたし、富山市は、もっとも永い在住の土地ということになります。富山市には墳墓こそありませんが、私にとっては、故郷も同然なのです。職場と住居を転々としたのは、べつに移り気だったからではなく、戦争という巨大な歯車に牽引されるままにならざるを得なかったし、戦後は、経済社会の混乱の渦潮の流れに、つねに受動的だったせいでもあります。

私が富山大学に奉職した昭和34年ごろは、学園のなかは静かで、経済学部と専攻科・併設短大と授業は過密でしたが、それでも、かなり研究に打ち込むことができました。しかし、それも束の間で、数年後の昭和41年ごろからは、経済学部の内紛が起こり、つづく数年間は、全学園の紛争の火の粉をあびて、教育と研究は、焼け焦げたぼろぎれのように、その機能を十分に果たし得ませんでした。

「人間のほんねというものは、ふだんは潜在的でよくわからないものだが、異常事態になると顕現する」と、よくいわれますが、学園紛争のさなかのこと。経済学部の学生諸君が、民主化運動の一つとして、教授会団交を求めたので、それを受け入れて、教授会の構成員である教官が壇上で椅子に腰かけて、学生諸君との団体交渉に応じていたときのことで、激昂した学生のひとりが、野崎富作先生（昭和57年1月逝去）の腰のあたりを足げりにしたそうです（学生はその事実を否定しましたが）。事実の有無はべつとして、先生は、それ以降の団交には、

「一切出席しない」

と、言いつづけられました。教授会の構成員が出席を拒めば、学生がいう教授会団交は成立しなくなるのです。ゆれ動く学園の嵐のなかで、強い信念をもって、ひとりだけで自己の意思を貫ぬきとおすには勇気がいることです。

「学園紛争は、教官と学生との精神構造に、ある種の変革をもたらしたことは、確かのようにです。ノーベル賞受賞の経済学者で、有名なティンバーゲンは、福祉社会を実現するための要因として、生産の増加、公正な分配、自由、平和、社会環境の五つをあげていますが、私の専門は原価計算論で、いわゆる製造工業の会計学とでもいうべきものですから、つい生産効率の問題に重点をおきがちになります。これが、ティンバーゲンのいう第一の福祉要因にも大いに関連しているのです。ところが、あるゼミナールの授業のときです。ひとりの学生から、

「先生は、生産性の向上とよくいいますが、働く人たちに生産の増大を説くのは、薄給で生活が楽でないからで、じぶんの暮らしを豊かにするためです。」という反論が飛び出したのには、私は、失望を禁じ得ませんでした。ふだんは真面目で、おとなしく、よく勉強する学生であっただけに、なおさらのことです。

しかし、学生の思考は、さまざまで、多くの学生のなかには、

「今の社会には、けっして満足しているわけではありませんが、もともと人間というものは、程度の差こそあれ、不完全なものばかりです。この不完全な同類が、どんなに多く集まったところで、完全なものになるはずはありません。三角形のものを、どんなに多く集めて工夫を凝らしても円形にはなりません。できるだけ円形になるように努力することはいうまでもありませんがね。丸い理想社会は、幻想です。じぶんの家は貧乏で、なんにもありませんが、健康に恵まれ、まああの知能のじぶんを生んでくれた両親には感謝しています」と、おとなじみた達言を吐いたものもいました。わが身も反省せざるを得ないほどでした。

学園紛争が峠を越したかにみえた昭和48年5月に、私は、学生部長併任となり、後藤先生、林先生、柳田先生の秀抜な三人の学長先生の良きご指導、ご教示に恵まれたことは、私にとって最大の幸せでした。さらに学生部を媒体として、敬仰すべき多くの教職員の方々にもめぐり会う好機を得たことは、私には何物に

もかえ難い貴重なものとなっています。

あの日、あの頃のこと、あの人、この人との出会いは、万巻の紙葉をもってしても表現し盡くし得ないほどです。遠く過ぎ去ったことは、時間と空間のペールに蔽われて美しくみえるものです。ときどき思い出し

ては、懐かしんでいるこの頃です。

筆者：昭和34年10月 富山大学に着任

昭和57年4月 停年退職

昭和58年9月 富山大学名誉教授の称号授与

## 寄 稿

### 〈ウッズ・ホールと海洋生物学研究所〉

マサチューセッツの州都ボストンから、高速道路を時速60~70マイルで走ると、約2時間でコッド岬の南端にある町、ウッズ・ホールに着く。沖にはメルヴィルの「白鯨」でお馴染みのナンタケット、マーサス・ヴィンヤード、ノーシャンなどの島々が大西洋の荒波に対する防波堤の様に並んでいるのが見える。この町には、私が研究に従事した海洋生物学研究所を始めとして、海洋学研究所、政府直属の漁業研究所、地質調査所など世界でも有数の研究所がある。これらの研究所を取り囲む様に、ニューイングランド特有の美しい住居が、さわやかな緑の中に点在している。他に目立ったところでは、沿岸警備隊の基地、上記島々へのフェリーボートの発着場及びボストン行のボナンザ・バスの始発停留所がある。銀行1、郵便局1、本屋1、ドラッグストア1、食料品店1、酒屋1、酒場2、レストラン1（夏期は6）、ウッズ・ホールは研究所関係者と夏期観光客で支えられている小さな町である。

ウッズ・ホール海洋生物学研究所の創立は1888年、その源は1873年に始まった博物学の夏期学校にあると言う。様々な団体・個人による援助と研究者が獲得する科学研究費により、この研究所は運営されている。一年を通じて稼働している研究室は約20あり、およそ200人の研究者・職員が働いている。一方、この研究所を流動的に利用する研究者・学生数は、年間1000人を優に越えるそうである。正に生物学界をリードしている研究所の一つなのである。ここでは、研究者は雑用に捕らわれることが少なく、より研究に専念できる。ゴミは毎朝職員が片付けに来てくれ、必要があれば掃除もしてもらえる。蒸留水は、朝電話で頼めば昼には持って来てもらえ、日常よく使用する薬品・器具・文具などは地下の売店に行けば簡単に入手できる。論文に必要な図・写真は、フォト・ラボへ依頼すれば

理学部助手 中村省吾

非常に美しい仕上がりで返ってくる。その他に、専任の職員がいる工作室、コピー室、郵便室、機器室などが研究所内に設けられている。そして、会議の類は極端に少ない。

この研究所の研究室を使用するためには、非常に高い室料を払わねばならない。部屋一つを借りるのに、人間2人が雇える位の金額が必要である。従って、十分な科学研究費を獲得できる実力のある研究者でなければ、ここでの研究は続けられないのである。ある研究者は、「ここでは、各研究者が自身で研究費を取ってくるので、他の大学などで見られる研究予算や地位獲得のための研究者間の政争が無く、また個々の研究者も人間的に良いので、大変気持ち良く研究生活が送れる」と語っていた。実際、研究上で困った問題が生じれば、より詳しい研究者の部屋へ飛び込めば、快く教えてもらえたり、特殊な実験機器・薬品なども気安く貸してもらえた。

この研究所では、研究材料を採集・飼育保存する設備も持っており（大型船2隻と飼育棟）、200種類以上の海洋生物が供給可能だそうだ。沖には、巨大な暖流（湾流）と寒流（ラブラドル海流）がぶつかるプランクトンの豊富な海域を持ち、また変化に富んだ海岸線が研究所周辺に多数あるからだろう。この研究材料で有名な生物として、カブトガニとイカがある。生きた化石と言われるカブトガニは、その血液中に、ある種の細菌の毒素を検出することができる因子を持ち、その因子の分離・精製が一つの医薬産業になりつつある。また、イカは、その巨大神経繊維が神経生物学の格好の材料となることから使用頻度が高く、別名ウッズ・ホール・イカと呼ばれている。

夏、6月から9月までが、この研究所の最も活気に溢れる季節である。発生物学、細胞生理学、神経生

物学、微生物学、寄生虫学、海洋生態学などの夏期講座が開かれ、それにアメリカ国内だけでなく世界各国から選りすぐられた研究者、学生が参加するのである。また、気候が合わない、材料が入手できないなどの理由で冬期を避けて、夏期だけここで研究生活を送ることを恒例にしている研究者やその家族達も集まってくる。こうして、研究所の3つの研究棟は研究者・学生で一杯になり、研究・講義・講演・討論などで、毎夜遅くまで室内灯が煌々と灯るようになる。そして、食堂・宿泊所を中心に研究者・学生・その家族によって一大社交場も形成されるのである。この期間、毎週金曜日の夜には、ノーベル賞受賞者やそれに匹敵する様な研究者達により、心理学から分子生物学までの様々な分野について講演が行われる。研究者・学生だけでなく、近隣に避暑に来ている金持連中（研究所のスポンサー）も、この講演の聴衆となるのである。講演の後にはワイン・パーティがあり、無名の学生も一流の研究者と気安く話せる場が提供される。この研究所には、24時間開かれた図書館がある。新旧の生物学関係の科学誌を豊富に揃えた（約19万巻）世界でも有数の図書館で、総説・学術書・論文などをまとめるために、この時期この図書館だけを利用しに来る研究者も多く、書庫には、その様な閲覧者専用の机も多数用意されている。これらの夏期滞在者達は、研究の合間にビーチでの水泳、ヨット・モーターボート・カヌーなどによる海上散歩、各種パーティ、研究所主催のボートレースやマラソンレース、室内楽演奏会など広範囲に、また上手に楽しんでいた。

9月のレイバー・デイ（労働者の日）を過ぎると、研究者や学生の多くがそれぞれの大学へ引き上げ、研究所は翌年の夏まで落ち着いた雰囲気になる。ただ、研究所周辺の波止場や海上は、10月末までブルーフィッシュを釣る人々で賑わうのである。小は30センチから大は2メートル近いのまで、ルアーの選択さえ良ければ誰にでも釣れ、引きも強く非常に面白い釣りである。この時期の朝、研究所では前日の成果がコーヒーを飲みながらの話題となるのである。

私は、昨年7月から11ヶ月間、この研究所でクシクラゲの幼生を主な材料として、繊毛の運動機構について研究をしてきた。私の使用したクシクラゲは、比較的透明な体を有し、夜は黄緑色の蛍光を発しながら、また昼は太陽の光を反射して虹色に輝きながら、ゆっくりと海中を泳ぐ美しい生物である。雌雄同体で幼生も得易い。クシクラゲは、分類学上クラゲに非常に近



（海洋生物学研究所）

い生物であるが、いくつかの相違点がある。その中の一つとして、クラゲは筋肉を使ってその傘状の体を開閉することによって行動するが、クシクラゲはその体表に八列並んだ、くし板と呼ばれる繊毛群の運動によって行動することがあげられる。クシクラゲは、前進（口の方向）していたものが環境の変化によって後退することがある。それは、くし板繊毛群が通常動く方向とは逆方向に動くことによって起こる。この繊毛群の動く方向の変換が、どのような要因によって引き起こされるかを調べるのが私の研究テーマであった。幸い、その要因がカルシウムイオンであることが証明でき、研究所主催の学会で発表することができた。

水平線に沈む夕日に向って飛び立つカナダ雁の群れ。ハロウィーンの夜、家々の窓からこぼれ出た光の中で戯れる仮装した子供達。ハヌカーを祝う窓辺のろうそくの灯。霧の中で、にじんだ様に光る船舶のクリスマス装飾灯。今も、印象深い光景が時々頭を過ぎる。アメリカ、カナダ、ドイツ、ハンガリー、フィリピン、韓国、日本、様々な国の人々に支えられて、楽しくも有意義な研究生活を送れた。

▶ 筆者は、文部省長期在外研究員（乙種）として、昭和58年6月30日から昭和59年5月31日まで11か月間真核生物の繊毛・鞭毛運動機構の研究のため、アメリカ合衆国へ外国出張されましたので、特に寄稿を御依頼したものです。

### 富山相銀奨学育英財団及び田村科学 技術振興財団からの助成金について

このたび、富山相銀奨学育英財団の研究活動助成金及び田村科学技術振興財団の研究助成金及び招へい助成金として、本学関係では次のとおり採択され各研究者に贈呈されました。

#### ○ 富山相銀奨学育英財団

学部	職	氏名	研究題目	助成金
人文学部	教授	梶井 陟	明治期以降における日朝両国間の言語並びに文学の相互交渉——特に朝鮮側の日本文学研究について	50万円
理学部	助教授	尾島 十郎	新規大環状共役化合物の合成	〃

#### ○ 田村科学技術振興財団

(研究の部)

学部	職	氏名	研究題目	助成金
理学部	教授	後藤 克己	環境水中の超微量有害成分の濃縮と定量に関する研究	50万円
工学部	〃	八木 寛	無脊椎動物の感覚・神経システムの解析と知能ロボットへの応用	100万円

(招へいの部)

氏名 (所属機関等)	受入れ担当教官	研究題目	助成金
仲 玉林 (中華人民共和国) (遼寧大学・講)	工学部・教授 宮下 和雄	半導体材料表面	50万円

## 職員消息

#### 《住所変更》

##### 人文学部

助教授 北村 純一

##### 教養部

助教授 高安 和子

## 主 要 行 事

### 本 部

- 6月1日 保健管理センター運営委員会  
 4日 北陸地区国立学校事務電算化協議会の昭和59年度第1■定例協議会  
 国立大学入学者選抜研究連絡協議会中部地区協議会（於 愛知県産業貿易館）  
 5～6日 昭和59年度国立学校及び所轄機関等庶務部課長会議（於 東京医科歯科大学）  
 5～7日 国立大学入学者選抜研究連絡協議会第5回大会（於 愛知県産業貿易館）  
 8日 国大協第3常置委員会（於 国大協）  
 文部省北陸地区共同事業体育大会の打合せ会（於 福井医科大学）  
 昭和59年度東海・北陸地区国立大学学生部長会議（於 名古屋大学）  
 11日 会計係長会議  
 11～12日 昭和59年度国立大学施設担当部課長会議（於 東京医科歯科大学）  
 12日 当初予算配分に係る事前説明会  
 第1回富山大学施設整備委員会  
 昭和59年度第2回入学試験管理委員会  
 13日 部課長会議  
 15日 第1回大学院委員会  
 第3回評議会  
 第2回学寮補導委員会  
 17日 名誉教授の会例会（於 海老亭本館）  
 18日 事務電算化委員会  
 19日 情報処理センター設置準備委員会  
 19～20日 第74回国大協総会（於 国立教育会館）  
 21日 国立大学長会議（於 国立教育会館）  
 22日 第41回事務連絡会議（於 国立教育会館）  
 北陸地区国立大学人事担当者会議  
 第43回構内交通対策委員会  
 23日 学生会館暗室使用説明会  
 25～26日 X線直接撮影  
 28日 部課長会議

中部地区安全担当者会議

（於 人事院中部事務局）

- 29日 第1回国際交流委員会  
 第34回北陸三県大学学生交歓芸術祭運営委員会（於 金沢大学）  
 第1回富山大学教務委員会

### 人 文 学 部

- 6月6日 教授会  
 13日 学部教務委員会  
 学部補導委員会（持ち回り）  
 23日 教授会  
 大学院設置推進委員会  
 27日 2年次学生コース別オリエンテーション（第1日）  
 29日 2年次学生コース別オリエンテーション（第2日）  
 30日 中華人民共和国遼寧大学助教授 係 文良氏講演会

### 教 育 学 部

- 6月6日 学部教務委員会  
 附属幼稚園教育研究協議会  
 8日 学部補導委員会  
 日本教育大学協会第二部会幼児教育部門会（於 岡山市）  
 内科検診  
 12日 カリキュラム委員会  
 13日 附属中学校教育研究協議会  
 20日 学部教務委員会  
 教授会  
 人事教授会  
 28～29日 日本教育大学協会北陸地区評議員会



(於 上越教育大学)  
29～30日 全国国立幼稚園長会総会及び研究大会  
(於 広島市)

び通常総会 (於 長野県戸倉町)  
29日 学部教務委員会

### 経済学部

6月6日 定期健康診断 (内科検診)  
7～8日 昭和59年度春季国立11大学経済・経営学部  
長及び事務長会議 (於 香川大学)  
11日 学部補導委員会 (持ち回り)  
13日 教授会  
20日 日本海経済研究所運営委員会  
財務委員会  
26日 財務委員会  
各種委員選考委員会  
27日 学部教務委員会  
人事教授会  
日本海経済研究所所員会議  
教授会

### 理学部

6月27日 学部教務委員会

### 工学部

6月  
1～2日 第22回中部圏国立大学工学系事務協議会  
(於 福井大学)  
6日 北陸信越工業教育協会富山県支部幹事会  
定期健康診断 (内科検診・女子)  
8日 事務連絡会  
9～10日 仰嶽寮祭  
13日 定期健康診断 (内科検診)  
18日 図書委員会  
19日 事務連絡会  
20日 定期健康診断 (内科検診)  
25日 事務連絡会  
図書委員会  
27日 北陸信越工学部長懇談会  
(於 長野県戸倉町)  
27～28日 北陸信越工業教育協会理事会・評議員会及

### 教養部

6月8日 講演会  
演題：ミヤコグサの種生物学  
講師：W. F. グラント氏  
(カナダ, マツギル大学教授)  
13日 定期健康診断 (内科検診)  
20日 予算委員会  
教務委員会  
27日 特昇その他給与に関する委員会  
教授会

### 附属図書館

6月7日 第1回附属図書館電算化委員会  
電算化ワーキンググループ打合せ  
14日 同上  
14～15日 第31回国立大学図書館協議会総会  
(於 松山市)  
15日 定期健康診断 (内科検診, 尿, 血圧測定)  
21日 電算化ワーキンググループ打合せ  
26日 第3回商議会  
28日 電算化ワーキンググループ打合せ

### 保健管理センター

6月1日 保健管理センター運営委員会  
6日 経済学部定期健康診断  
13日 教養部 〃  
25～26日 X線直接撮影

### 経営短期大学部

6月18日 第1回奨学生選考委員会  
20日 第3回将来構想委員会  
21日 昭和59年度国立短期大学協会第2部会  
(於 国立教育会館)

22日 第24回国立短期大学協会定期総会  
(於 東海大学校友会館)

28日 第1回入試委員会  
第4回教授会

資 料

昭和58年度富山大学学報目録 (第233号～第244号)

◎学 長 告 辞

- 昭和57年度富山大学卒業式学長告辞……第233号
- 昭和58年度富山大学入学式学長告辞……第234号

◎関 係 法 令

- 第233号～第236号, 第238号～第244号

◎学 内 規 則

- 富山大学学則の一部改正……第234号
- 富山大学国際交流委員会規則の制定……第244号
- 富山大学私学研修員, 専修学校研修員及び公立大学研修員規則の制定……第244号
- 富山大学受託研究員規則の制定……第244号
- 富山大学外国人受託研修員規則の制定……第244号
- 富山大学公印管理規則の一部改正……第234号, 第239号
- 富山大学における事務の委任に関する規則の一部改正……第233号
- 富山大学名誉教授称号授与規則の一部改正……第237号
- 富山大学名誉教授称号授与規則施行細則の一部改正……第237号
- 富山大学客員教授選考基準の制定……第236号
- 富山大学物品管理事務取扱細則の一部改正……第234号
- 富山大学職員に対する給与の口座振込実施要領の制定……第242号
- 富山大学文理学部関係規則等を廃止する規則の制定……第233号
- 富山大学文理学部の廃止に伴う関係規則を整理する規則の制定……第234号

- 富山大学人文学部規則の一部改正……第236号
- 富山大学経済学部規則の一部改正……第239号
- 富山大学理学部規則の一部改正……第244号
- 富山大学教養部規則の一部改正……第244号
- 富山大学教養部学生の助言教官に関する規則の一部改正……第244号
- 富山大学大学院理学研究科規則の一部改正……第236号, 第244号
- 富山大学大学院工学研究科規則の一部改正……第233号
- 富山大学図書館資料管理事務取扱規則の一部改正……第234号
- 富山大学保健管理センターの所長及び教官選考規則の一部改正……第235号
- 富山大学廃水処理室運営委員会規則の一部改正……第244号
- 富山大学経営短期大学部学則の一部改正……第234号
- 富山大学高岡短期大学創設準備室規則の制定……第234号
- 富山大学高岡短期大学創設準備委員会規則の制定……第234号

◎諸 会 議

- 第233号～第244号

◎学 事

- 学位取得者……第233号, 第235号, 第236号
- 昭和59年度文部省内地研究員の決定……第244号
- 昭和58年度文部省在外研究員派遣予定者の決定……第233号, 第234号
- 昭和58年度科学研究費補助金(海外学術調査)交付内定者……第233号
- 昭和58年度科学研究費補助金交付内定……第235号

号, 第240号

- 昭和58年度科学研究費補助金申請・採択状況……第235号
  - 科学研究費補助金資料……第238号
  - 昭和58年度日本学術振興会特定国派遣研究者の決定……第234号
  - 昭和59年度日本学術振興会流動研究員の決定……第244号
  - 昭和59年度アフリカ地域研究センター派遣研究者の決定……第244号
  - 外国政府等からの留学生等の募集のお知らせ……第233号
  - 外国人研究者の取扱いについて……第233号
  - 奨学寄附金の取扱いについて……第236号
  - 昭和59年度大学入学者選抜共通第1次学力試験受験案内の交付……第236号
  - 昭和59年度富山大学入学者選抜に関する要項を発表……第236号
  - 昭和60年度富山大学入学者選抜学力検査実施教科・科目の公表……第235号
  - 学生募集要項……第241号
  - 共通第1次学力試験の実施……第243号
  - 昭和58年度富山大学並びに富山大学経営短期大学部入学者選抜状況……第233号
  - 昭和57年度富山大学並びに富山大学経営短期大学部卒業式挙行……第233号
  - 昭和57年度富山大学大学院並びに専攻科修了式挙行……第233号
- ◎人 事 異 動
- 第233号～第242号, 第244号
- ◎学 内 諸 報
- 富山大学学長候補者選挙……第235号
  - 人文学部長の改選……第233号
  - 教育学部附属学校(園)長の改選……第244号
  - 教養部長の改選……第244号
  - 附属図書館長の改選……第243号
  - 附属図書館工学部分館長の改選……第237号
  - 学生部長の改選……第235号
  - 保健管理センター所長の改選……第235号
  - 経営短期大学部主事の改選……第241号
  - 叙位・叙勲……第241号
  - 名誉教授の称号授与……第234号, 第240号

- 客員教授 名称付与……第237号
- 永年勤続者の表彰……第235号
- 文部省永年勤続表彰……第241号
- 退職者を囲む懇談会開催……第233号
- 海外渡航者……第233号～第242号, 第244号
- 昭和58年度富山大学公開講座の実施〈現代を考える, 現代のコミュニケーション, 健康・スポーツ教室, バドミントン・テニス教室, 生きる〉……第236号
- 富山大学事務職員研修……第239号
- 工学部の地鎮祭が行われる・学長メッセージ……第233号
- 工学部校舎新営工事用車両の交通について……第233号
- 教育実践研究指導センターの開所式……第236号
- 事務局庁舎の銘板工事について……第242号
- 学内レクリエーション〈囲碁大会, 将棋大会〉……第233号
- 学内レクリエーション〈バレーボール大会, 釣大会, ソフトボール大会〉……第237号
- 学内レクリエーション〈野球大会, バドミントン大会, 卓球大会, 将棋大会, 文化部会, 呉西の文化財と名勝を探ねて, 教職員文化展, 謡曲温習会〉……第241号
- 学内レクリエーション〈麻雀大会〉……第242号
- 学内レクリエーション〈囲碁大会〉……第243号
- 昭和58年度文部省北陸地区共同事業体育大会……第237号
- 昭和58年度国家公務員レクリエーション共同事業富山地区
  - \* ソフトボール大会……第239号
  - \* 卓球大会……第242号
  - \* ボーリング大会……第243号
- シリーズ「富山大学, あの日あの頃」について……第238号
- シリーズ「富山大学, あの日あの頃」〈ポツダムの落し子〉……第238号
- シリーズ「富山大学, あの日あの頃」(2)〈20年の歳月〉……第239号
- シリーズ「富山大学, あの日あの頃」(3)〈ヘルン文庫のことども〉……第240号

- シリーズ「富山大学、あの日あの頃」(4)〈赤谷山の遭難〉……第242号
- シリーズ「富山大学、あの日あの頃」(5)〈赤谷山の遭難〉(続)……第243号
- シリーズ「富山大学、あの日あの頃」(6)〈赤谷山遭難学生慰霊祭〉……第244号
- 寄稿〈ロンドンから帰って〉……第234号
- 寄稿〈欧米における大学教育と図書館〉……第235号
- 寄稿〈中国を訪ねて—教育研究事情を中心に—〉……第236号
- 寄稿〈ナポリ滞在記〉……第236号
- 寄稿〈A・N・U雑感〉……第237号
- 寄稿〈吃飯了麼から你好〉……第237号
- 寄稿〈トロント大学への留学の思い出〉……第238号
- 寄稿〈ミネソタ大学での6週間〉……第241号
- 寄稿〈ネパールで見たこと感じたこと〉……第242号
- 寄稿〈西ドイツ見聞記〉……第243号
- 保健管理センターだより〈精神療法～A子の場合～〉……第233号
- 保健管理センターだより〈テビスカップ〉……第234号
- 保健管理センターだより〈学生生活について〉(その1)……第235号
- 保健管理センターだより〈学生生活について〉(その2)……第236号
- 保健管理センターだより〈臨時健康診断について〉……第237号
- 保健管理センターだより〈心霊とのコミュニケーション〉……第238号
- 保健管理センターだより〈保健管理研究集会在が終つて〉……第240号
- 保健管理センターだより〈最近の医学報告から〉……第241号
- 保健管理センターだより〈雪の上のふれあい〉……第243号
- 中国遼寧省長一行の来学……第235号
- 柳田学長の中国訪問……第235号
- 行政監察官による実地監察……第236号
- 職員の服務規律について……第235号
- 紺綬褒章の伝達……第233号

- 富山大学職員成人式……第243号
- 島津科学技術振興財団から理学部高木光司郎教授に助成金が贈呈される……第242号
- 第25次南極地域観測隊員に川田邦夫氏が決定……第238号
- 南極の近況について……第244号
- 人文学部・理学部で消火訓練の実施……第238号
- 消防訓練の実施……第241号
- 就職協定について……第235号
- 第7回国立大学46工学系学部長会議総会の開催……第240号
- 第18回東海・北陸地区国立大学事務局長会議の開催……第240号
- 昭和58年度東海・北陸地区国立学校等安全管理協議会の開催……第240号
- 第10回北陸地区国立学校施設担当者連絡協議会の開催……第240号
- 第21回全国大学保健管理研究集会東海・北陸地方研究集会及び保健婦・看護婦班第10回研究集会……第237号
- 現金自動支払機(CD)の設置並びに教職員に対する給与の口座振込の概況について……第243号
- 高岡短期大学の開学……第239号

## ◎職員消息

- 第233号～第244号

## ◎主要行事

- 第233号～第244号

## ◎資料

- 人事院勧告について……第238号
- 給与法の改正について……第241号
- 昭和59年度に開催予定の主要会議及び大会行事予定表……第241号
- 附属図書館利用統計……第234号
- 昭和59年度入学志願者数……第244号
- 昭和58年度授業日程表……第233号
- 昭和58年度富山大学入学者数……第234号
- 昭和58年度大学院入学者数……第234号
- 昭和58年度専攻科入学者数……第234号
- 昭和58年度経営短期大学部入学者数……第234号
- 昭和58年度富山大学学部学生数……第234号

- 昭和58年度大学院学生数……第234号
- 昭和58年度専攻科学生数……第234号
- 昭和58年度専攻生，聴講生，研究生数……第234号
- 昭和58年度経営短期大学部学生数……第234号
- 昭和58年度富山大学学部学生数……第240号
- 昭和58年度富山大学大学院学生数……第240号
- 昭和58年度富山大学専攻科学生数……第240号

- 昭和58年度富山大学専攻生，聴講生，研究生数……第240号
- 昭和58年度富山大学経営短期大学部学生数……第240号
- 昭和57年度卒業（修了）者数……第233号
- 昭和57年度卒業生産業別就職状況……第235号
- 地域別就職状況……第235号

## ◇訂 正（おわび）

学報 昭和59年6月1日発行 第247号

ページ	訂正箇所	誤	正
17	職員消息の住所変更の項中工学部の欄	文部技官 高瀬 均	助 手 高瀬 均

- ◎ 退庁，退室の際には，戸締りの徹底・電気，ガスの消し忘れ，タバコの吸殻の後始末に十分注意し，盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!
- ◎ 電気，ガス，水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

- ◎ 構内での自動車等の運転は，教育・研究に支障を来さないよう安全運転に努め定められた交通方法，歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!





編集	富山大学庶務部庶務課
	富山市五福3190
印刷所	あけぼの企画
	富山市曙町8-4
	電話(33)3356代